

2017年度 第2四半期 決算説明会

2018年1月16日

 **佐鳥電機株式会社**

(証券コード:7420)

代表取締役社長兼CEO
佐鳥 浩之

目次

1. 2017年度第2四半期 決算概況

2. 2017年度 業績予想

3. 中期経営目標 進捗状況

1. 2017年度第2四半期 決算概況

2017年度第2四半期 事業概況

システムソリューション事業 デバイスソリューション事業共に前年同期を上回る

■ システムソリューション事業

- 産業インフラ市場：半導体製造装置向け制御機器の販売増加
- 社会インフラ市場：情報端末の販売増加

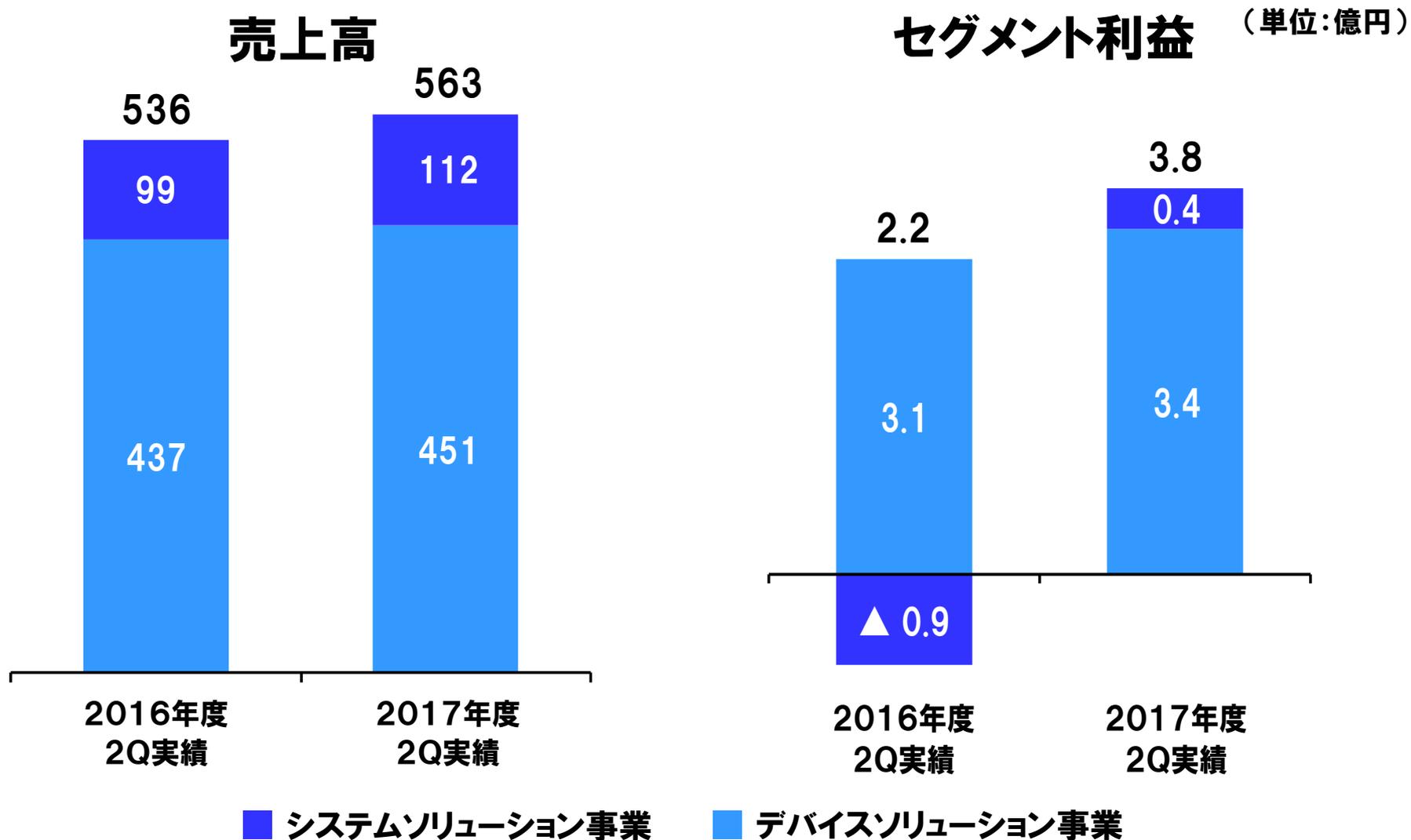
■ デバイスソリューション事業

- 事務機器：操作部ユニット採用機種減少
- PC・タブレット：電子部品シェア拡大により増加
- 車載：戦略商材が確実に伸長

2017年度第2四半期 決算概況(連結)

(単位:億円)	2016年度 第2四半期 実績	2017年度第2四半期			
		当初予想	実績	前年同期比	当初予想比
売上高	536	560	563	105%	101%
粗利率	8.3%	8.4%	8.5%	102%	101%
販管費	42.0	44.8	44.1	105%	98%
営業利益 (同率)	2.2 (0.4%)	2.4 (0.4%)	3.8 (0.7%)	173%	158%
経常利益	0.0	2.4	4.2	420%	175%
四半期純利益	▲1.0	1.2	3.3	—	275%
月平均為替レート (US\$/¥)	104.6円	110.0円	111.6円	—	—

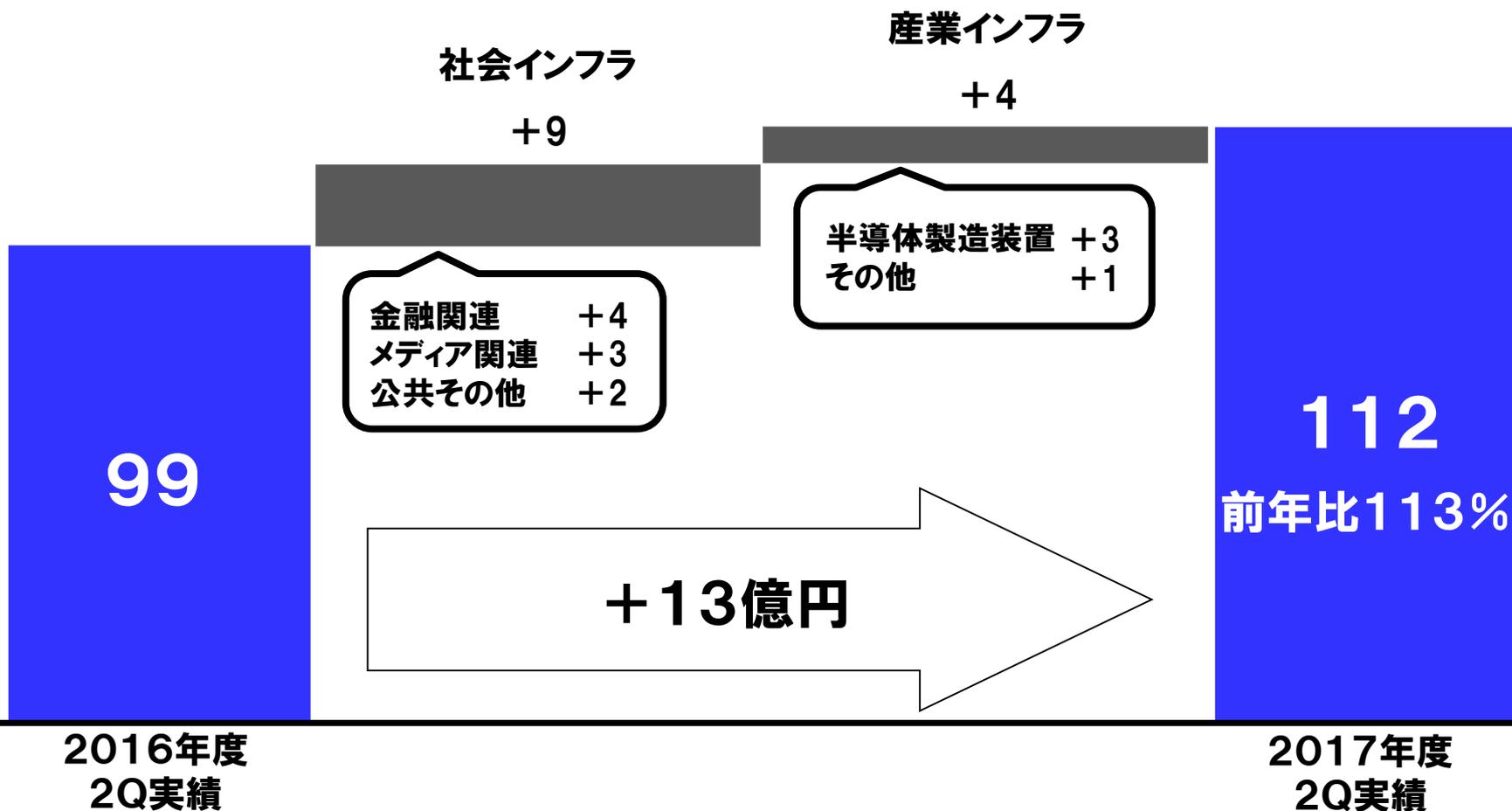
2017年度第2四半期 セグメント別損益推移



2017年度第2四半期 セグメント別 売上推移(1)

システムソリューション事業

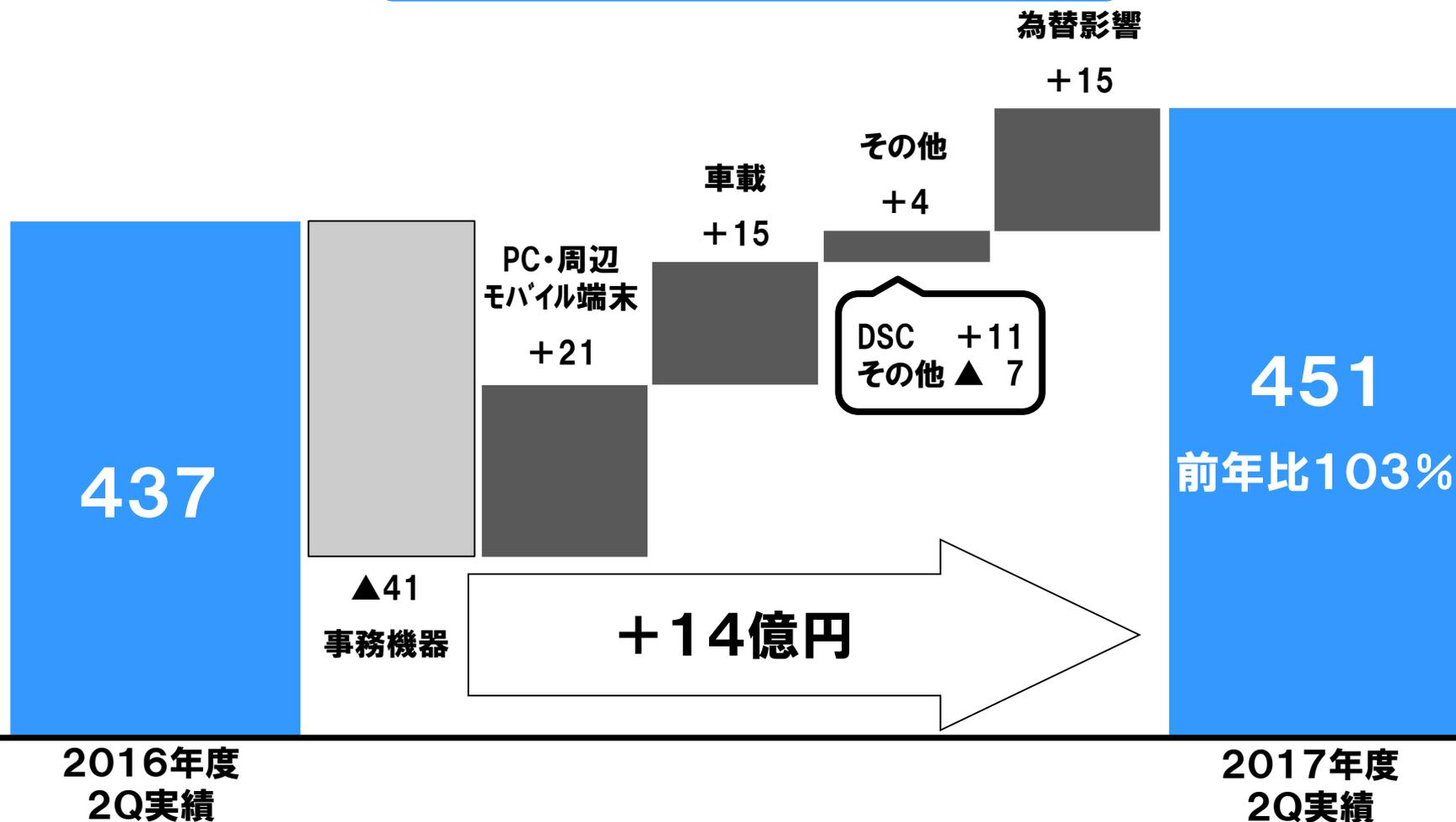
(単位:億円)



2017年度第2四半期 セグメント別 売上推移(2)

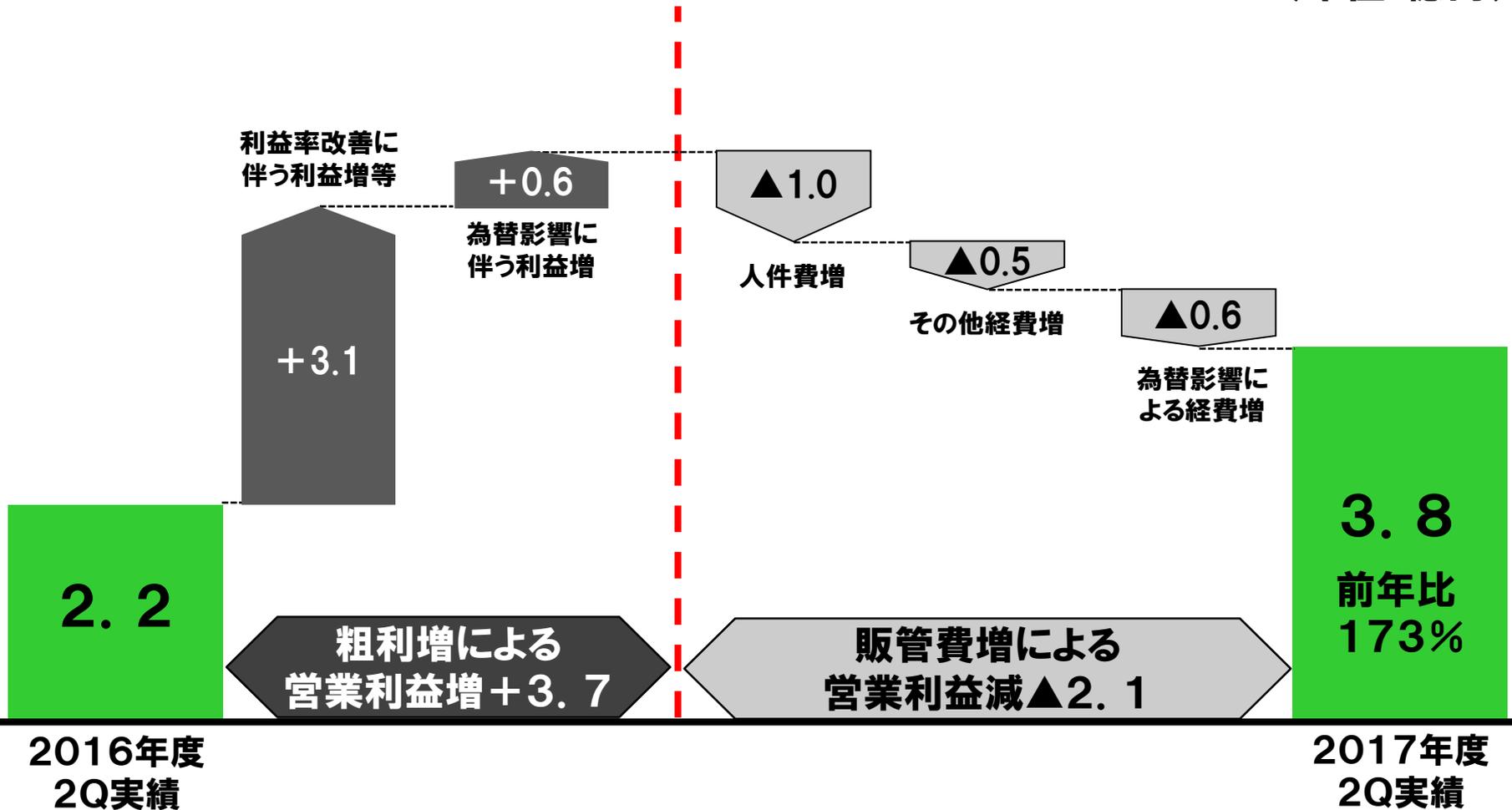
デバイスソリューション事業

(単位:億円)



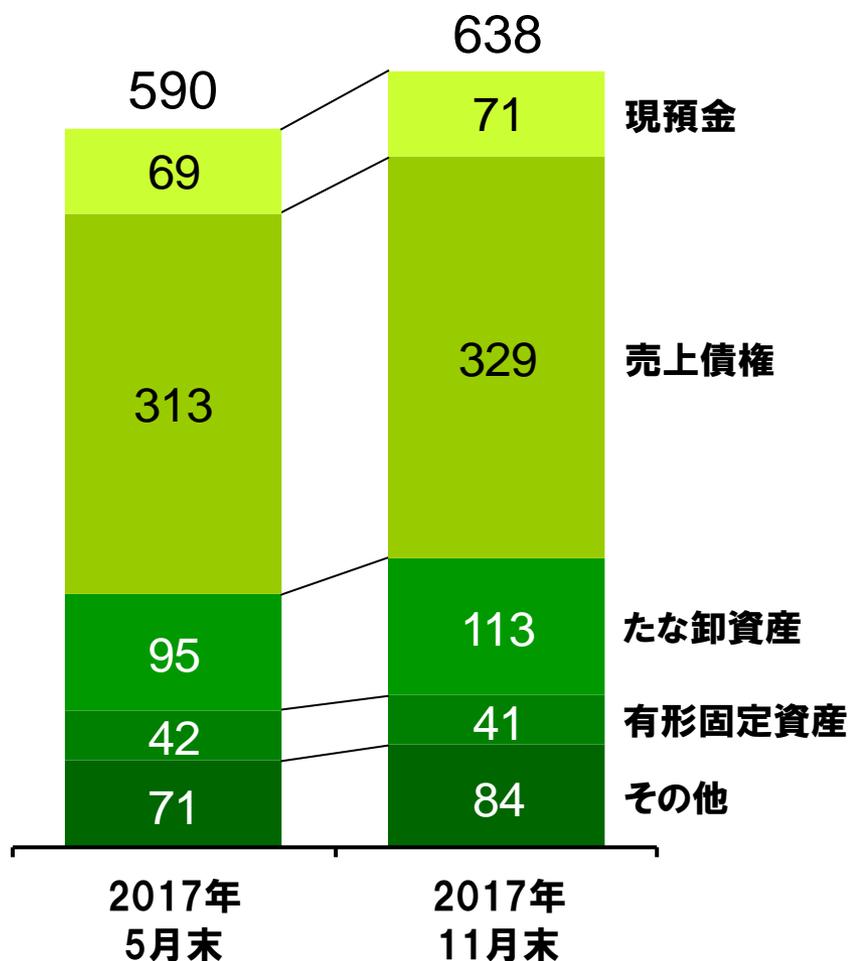
2017年度第2四半期 営業利益変動主要因

(単位:億円)



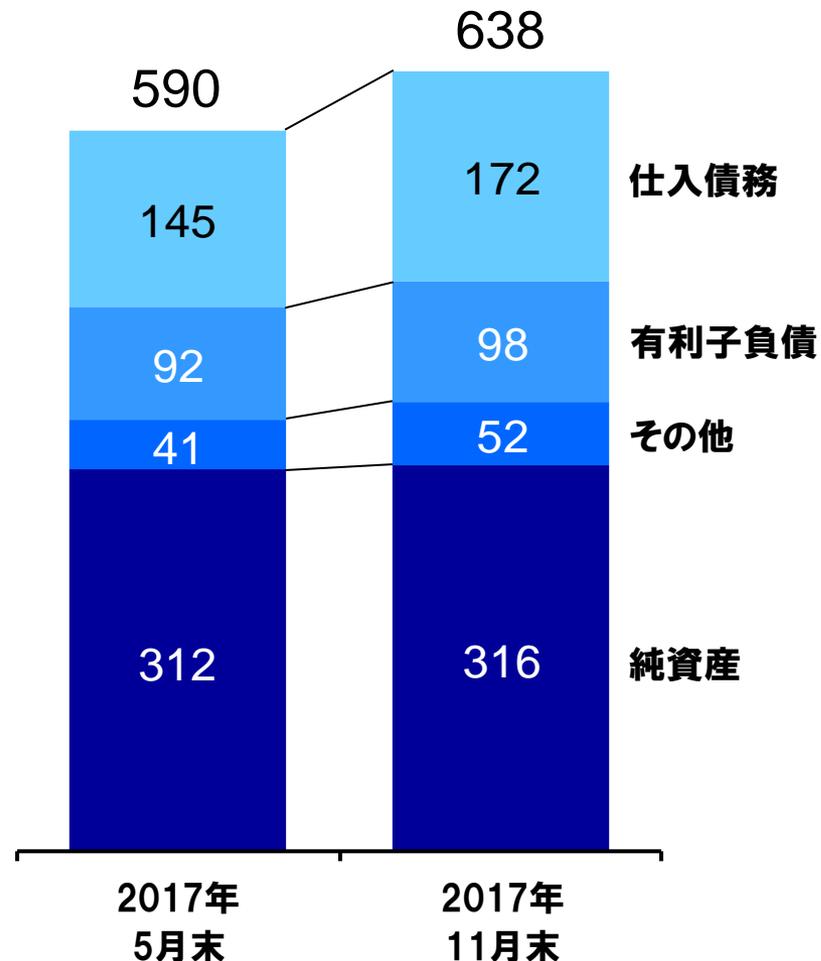
2017年度第2四半期 B/S概要

資産の部



負債・純資産の部

(単位:億円)



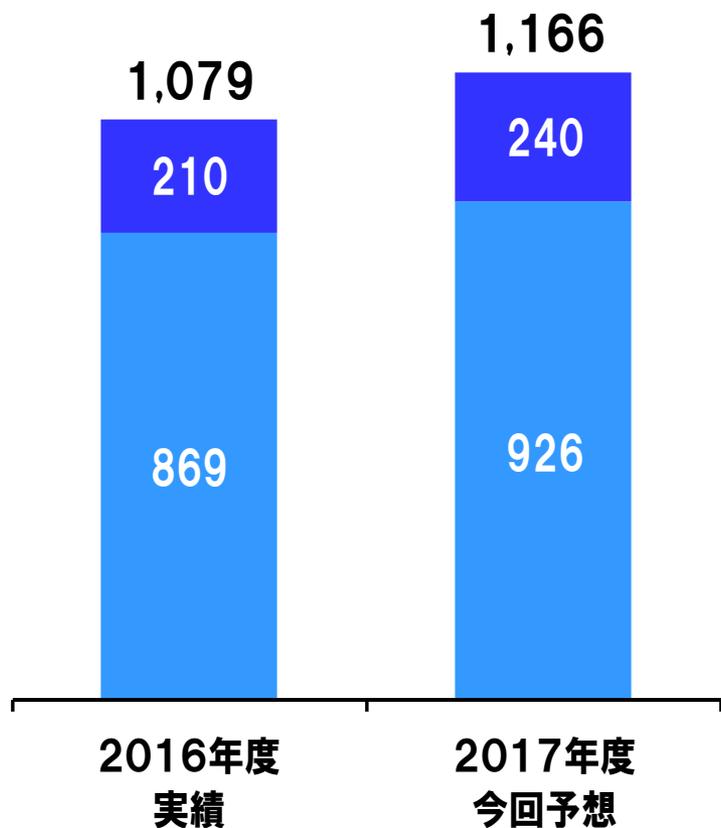
2. 2017年度 業績予想

2017年度 業績予想(連結)

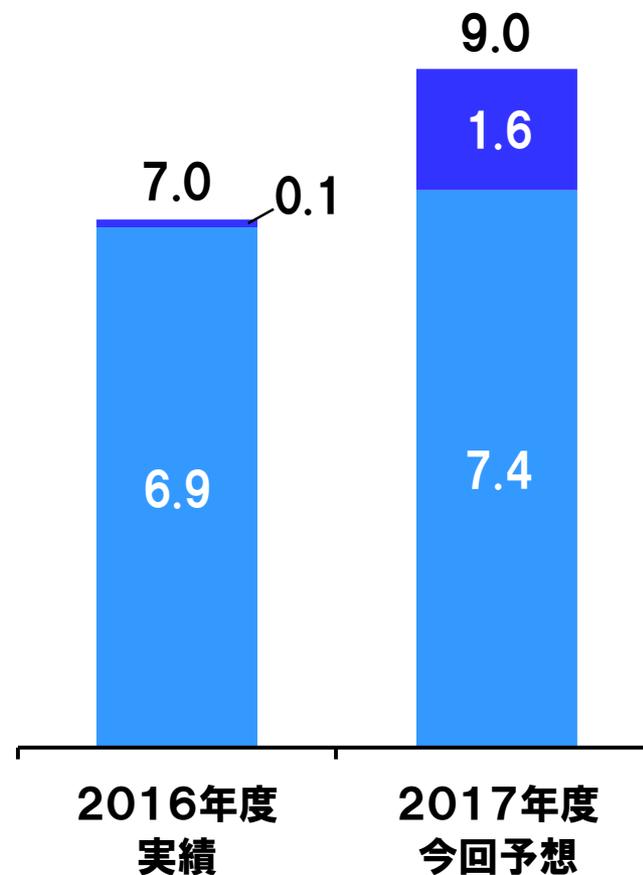
(単位:億円)	2016年度 実績	2017年度			
		当初予想	今回予想	前年度比	当初予想比
売上高	1,079	1,160	1,166	108%	101%
粗利率	8.6%	8.6%	8.6%	100%	100%
販管費	85.7	91.5	90.7	106%	99%
営業利益 (同率)	7.0 (0.7%)	8.0 (0.7%)	9.0 (0.8%)	129%	113%
経常利益	4.8	7.8	9.0	188%	115%
当期純利益	2.2	6.0	7.5	341%	125%
月平均為替レート (US\$/¥)	108.9円	110.0円	110.8円	—	—

2017年度 セグメント別損益推移

売上高



セグメント利益 (単位:億円)



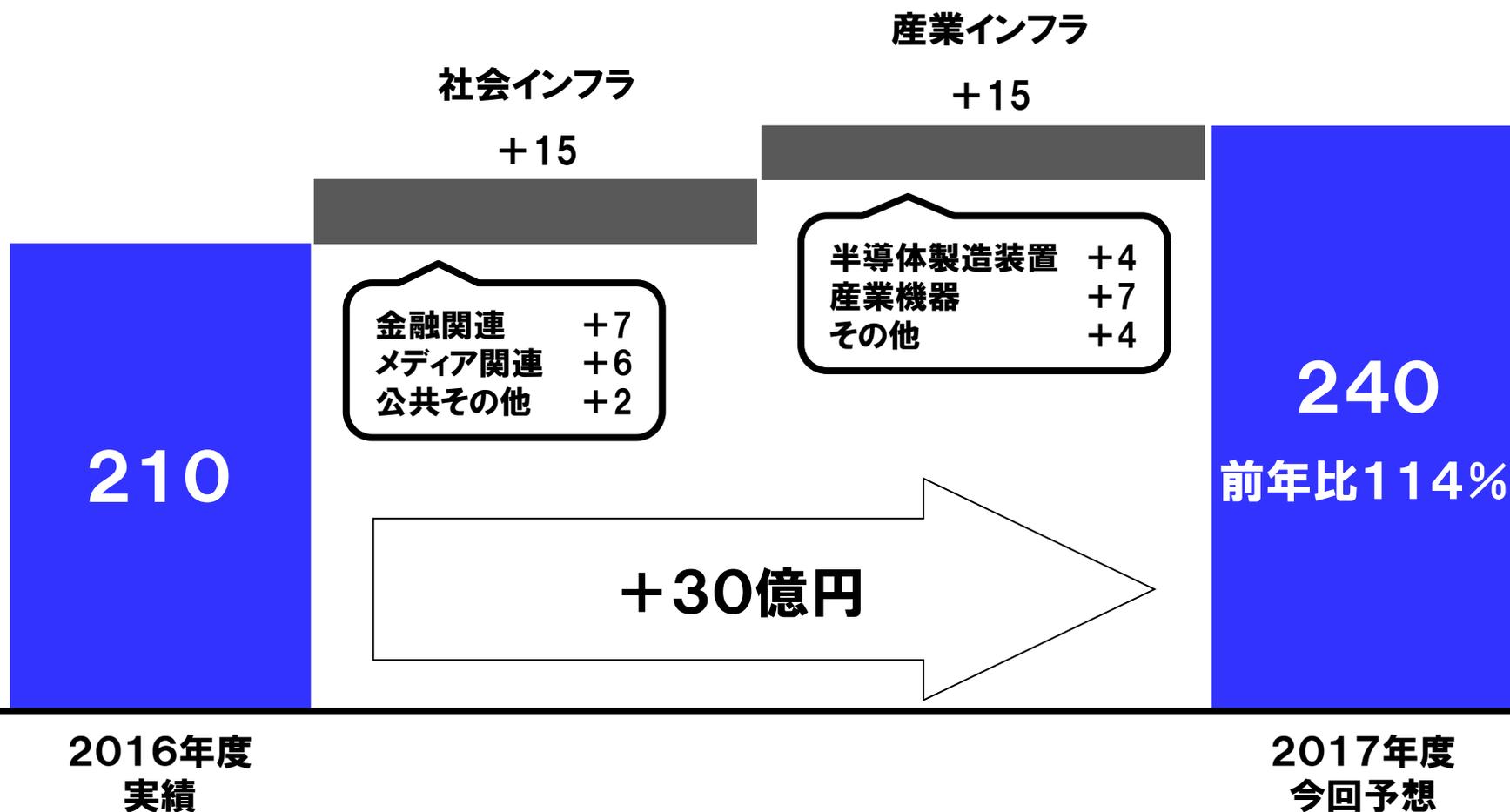
■ システムソリューション事業

■ デバイスソリューション事業

2017年度 セグメント別 売上推移(1)

システムソリューション事業

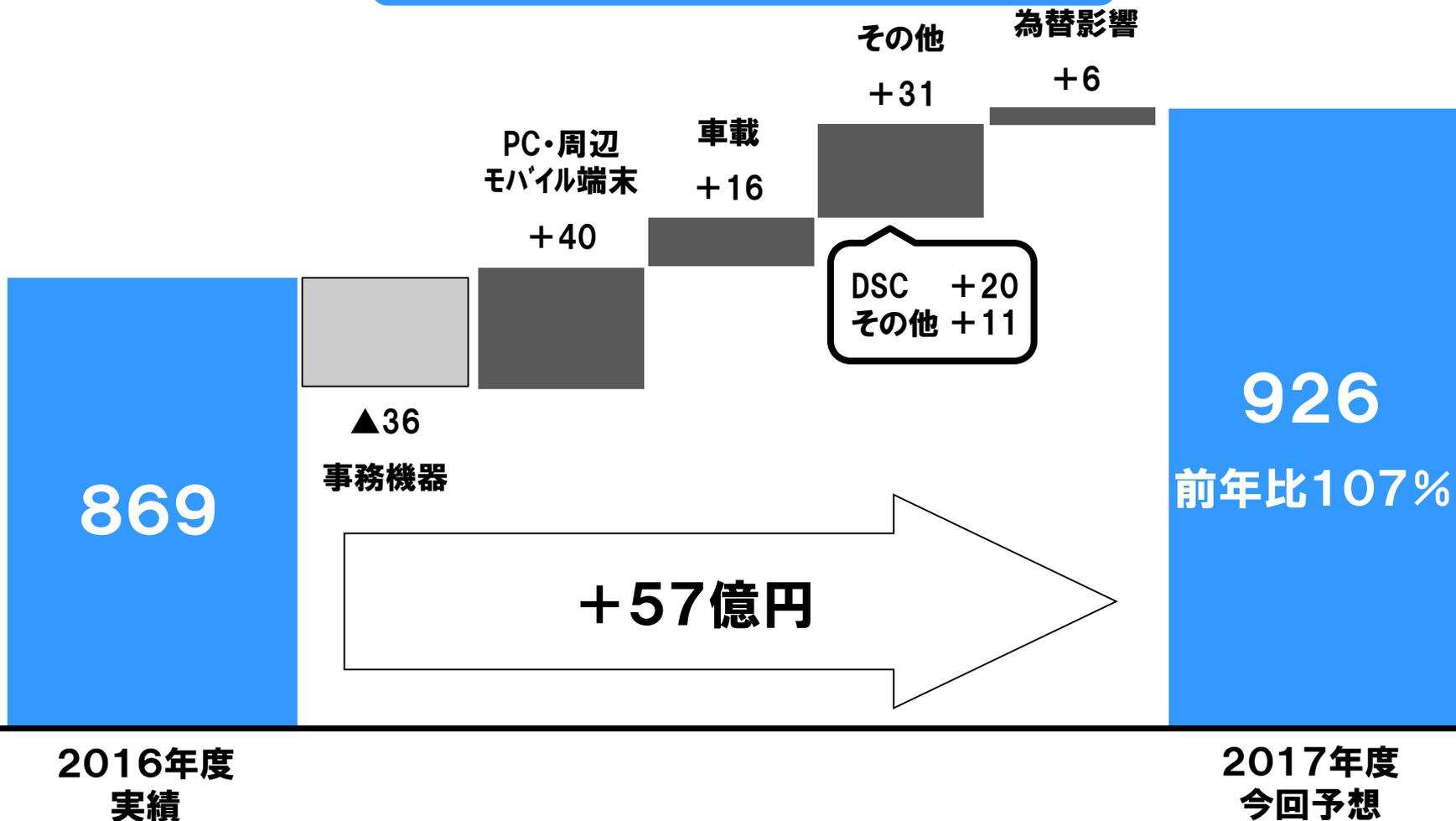
(単位:億円)



2017年度 セグメント別 売上推移(2)

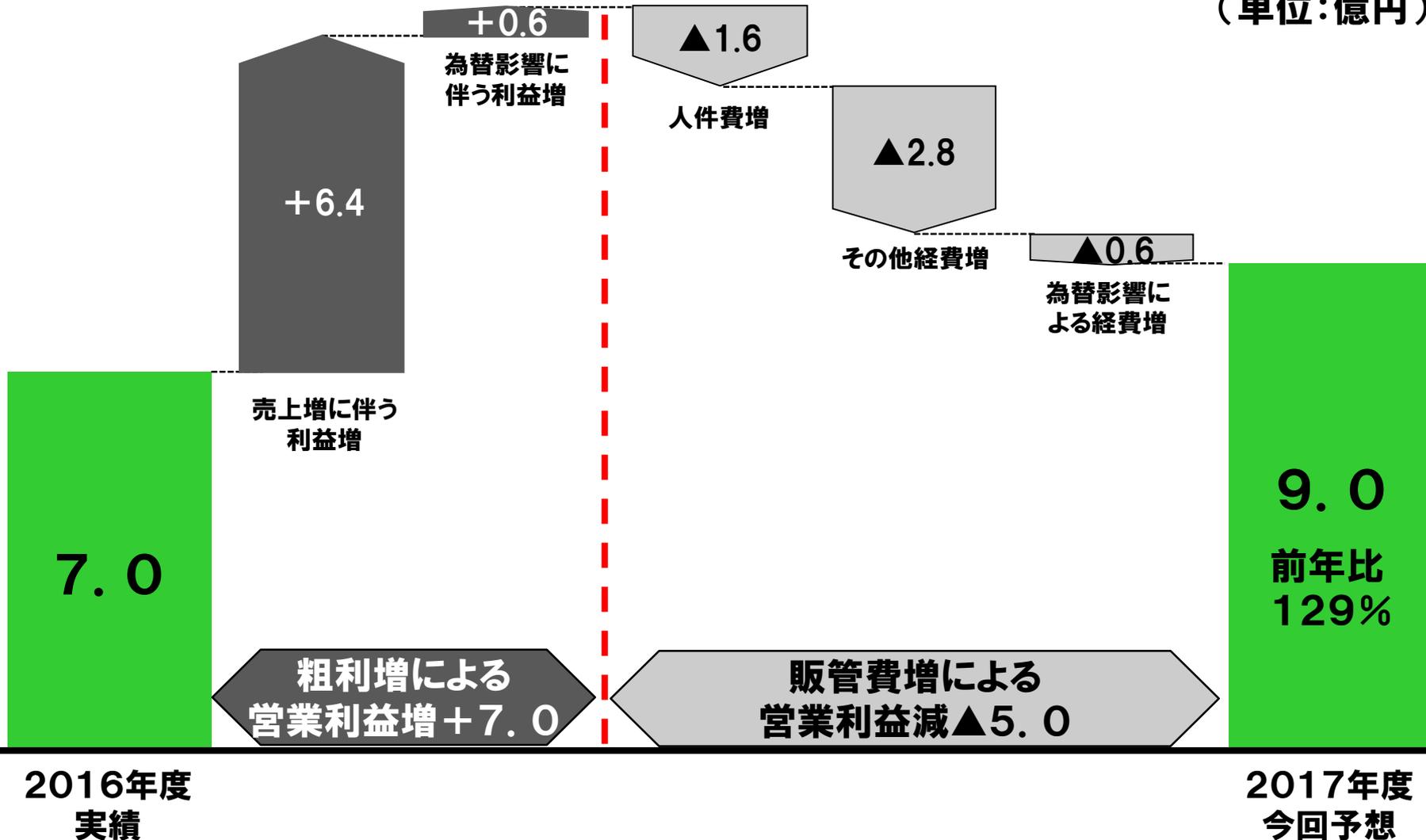
デバイスソリューション事業

(単位:億円)



2017年度 営業利益変動主要因

(単位:億円)



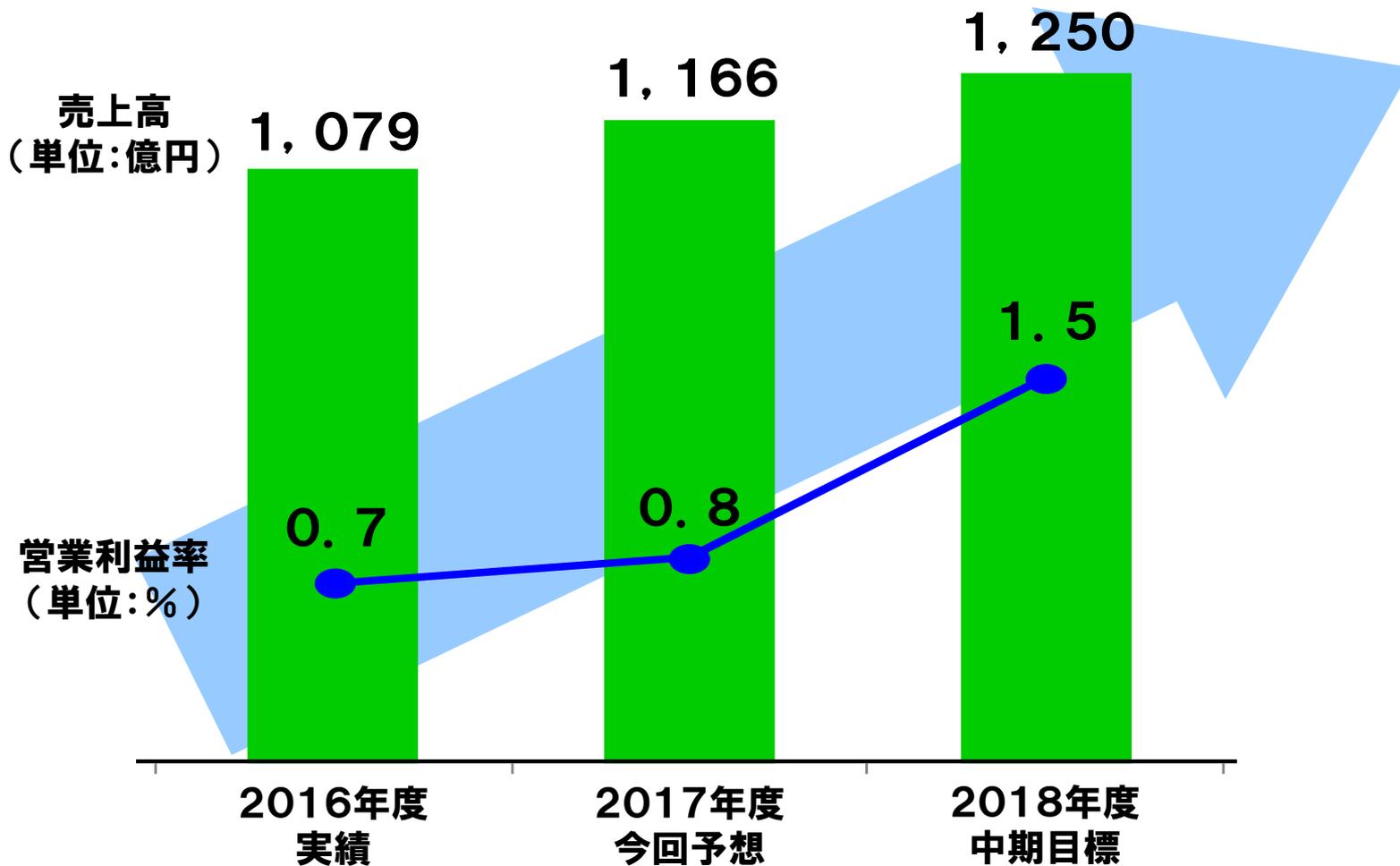
配当について

	2016年度	2017年度
中間	16円	16円
期末	18円 (記念配当2円含む)	18円 (予想)
年間	34円	34円

3. 中期経営目標 進捗状況

中期経営目標の進捗状況

中期経営目標達成に向けて着実に進捗



中期経営目標 重点施策

■ システムソリューション事業

収益力向上

- ・ IoT組込ソリューションの具体化
- ・ 新製品立上げによる自社製品の売上拡大

■ デバイスソリューション事業

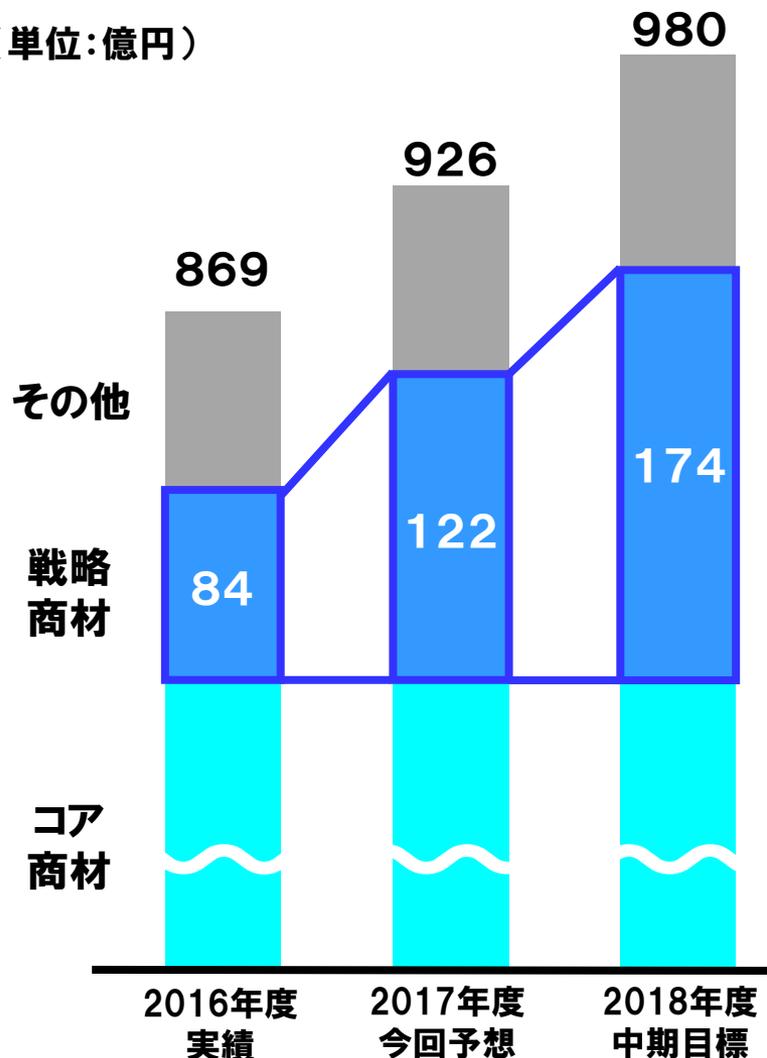
グロス拡大

- ・ コア商材による売上ベースラインの確保
- ・ ストレージ 及び 車載向け戦略商材による事業成長
- ・ 海外ローカル顧客への深耕による売上拡大

重点施策の実行により中期経営目標達成を目指す

2018年度 売上高1,250億円 営業利益率1.5%

(単位:億円)



戦略商材

■ストレージ

- ・HDD 2017年11月事業開始
- ・Flash 車載・PC市場向けに順調に伸長

■車載用半導体

- ・電子化の進展に伴いセンサの採用機種増加

■薄型電池

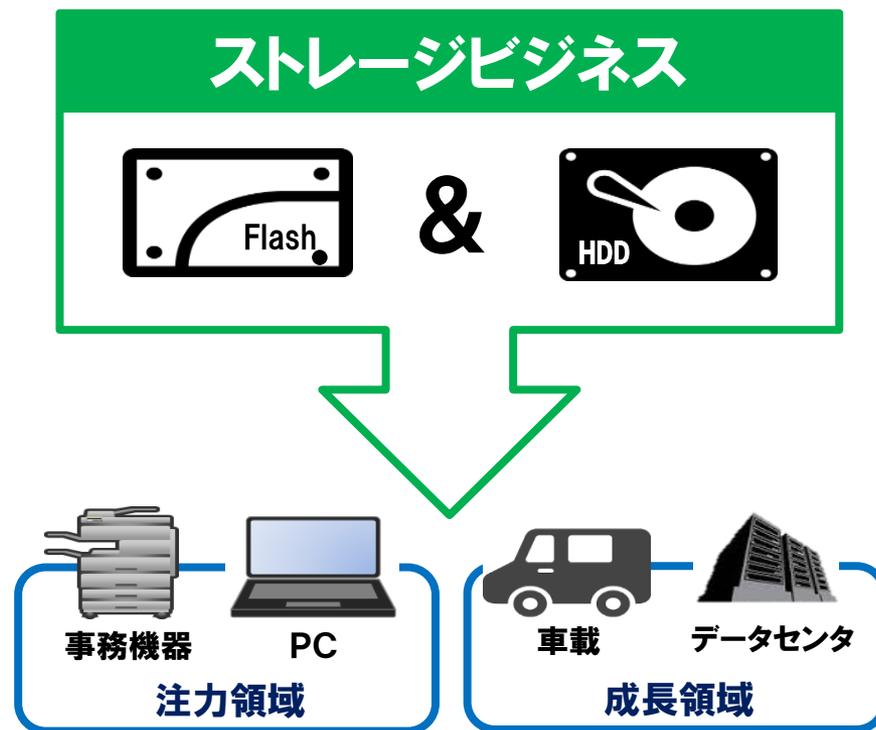
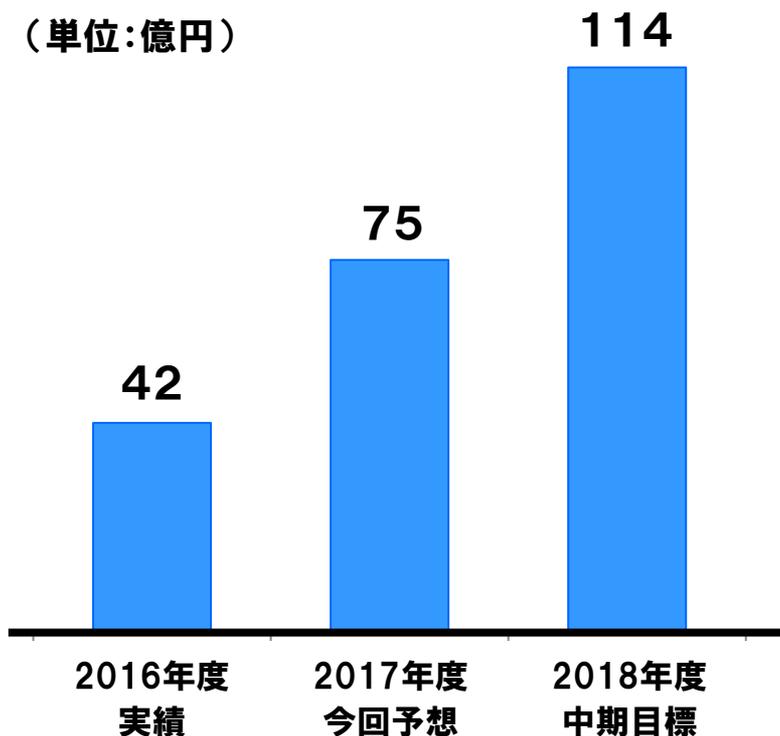
- ・特長を生かした新市場開拓中

コア商材

- ルネサスエレクトロニクス社製品を核としたソリューション提案による売上ベースライン確保

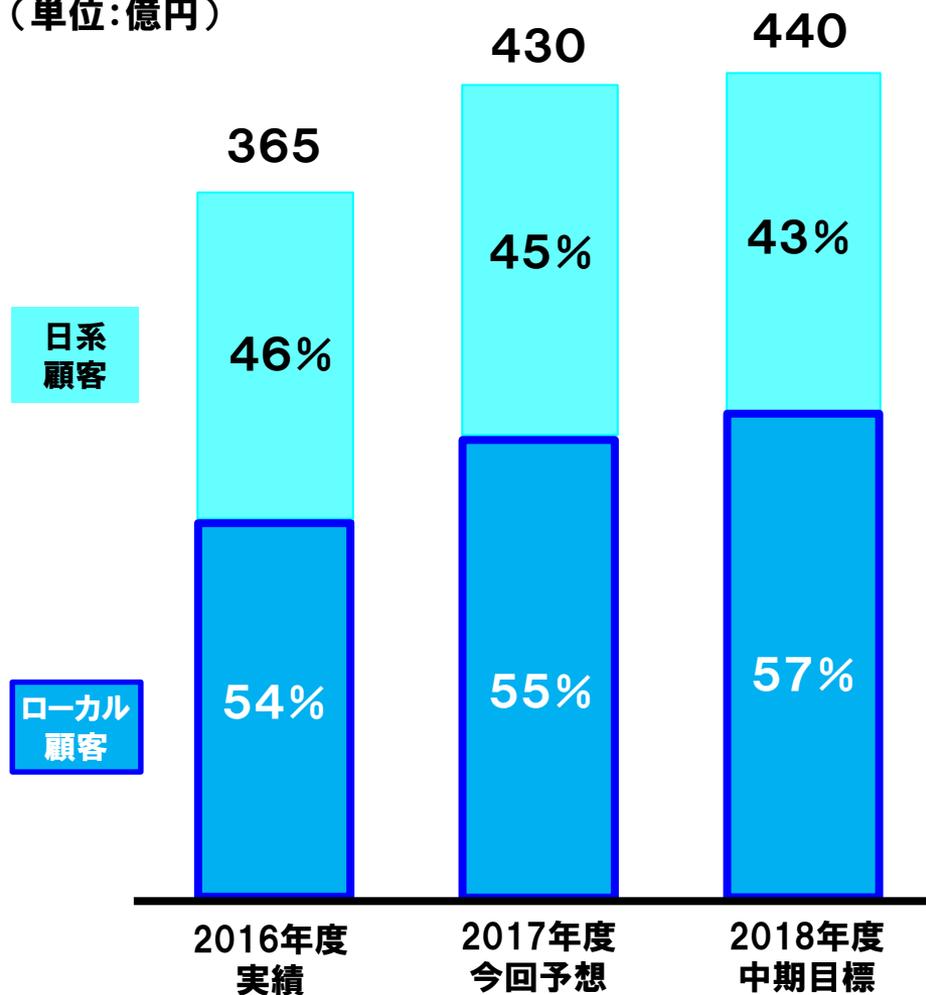
- コア商材を組合わせたソリューションビジネスの増加

Flash と HDDの両輪でストレージソリューション展開
販売から技術サポートまでワンストップで提供



海外ローカルビジネスの拡大

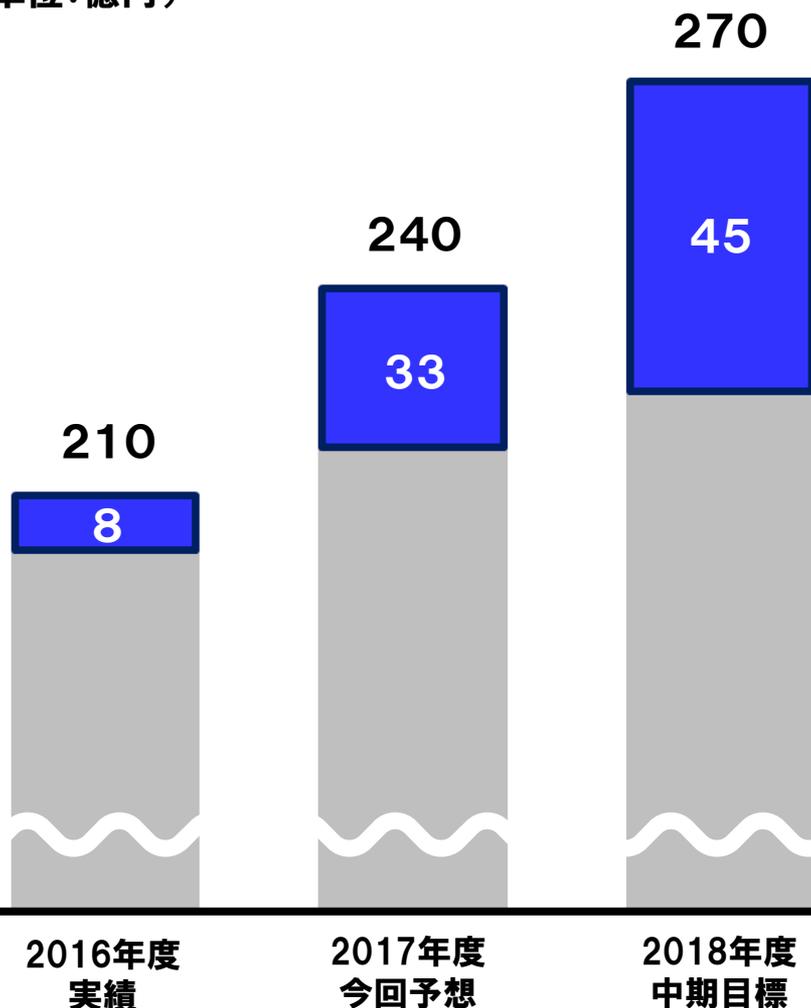
(単位:億円)



ローカル顧客比率が
着実に増加

- PC・タブレット市場向け
電子部品シェア拡大に成功
- 車載・産業市場向け
ソリューションの拡充
- デザインハウス協業による
ターンキーソリューション提案加速

(単位:億円)



IoT組込

■産業インフラ

『稼働監視・遠隔監視』商談具体化
(具体化件数:50社 商談総額:30億円)

■社会インフラ

鉄道向け設備保全管理等
IoTソリューションに集中

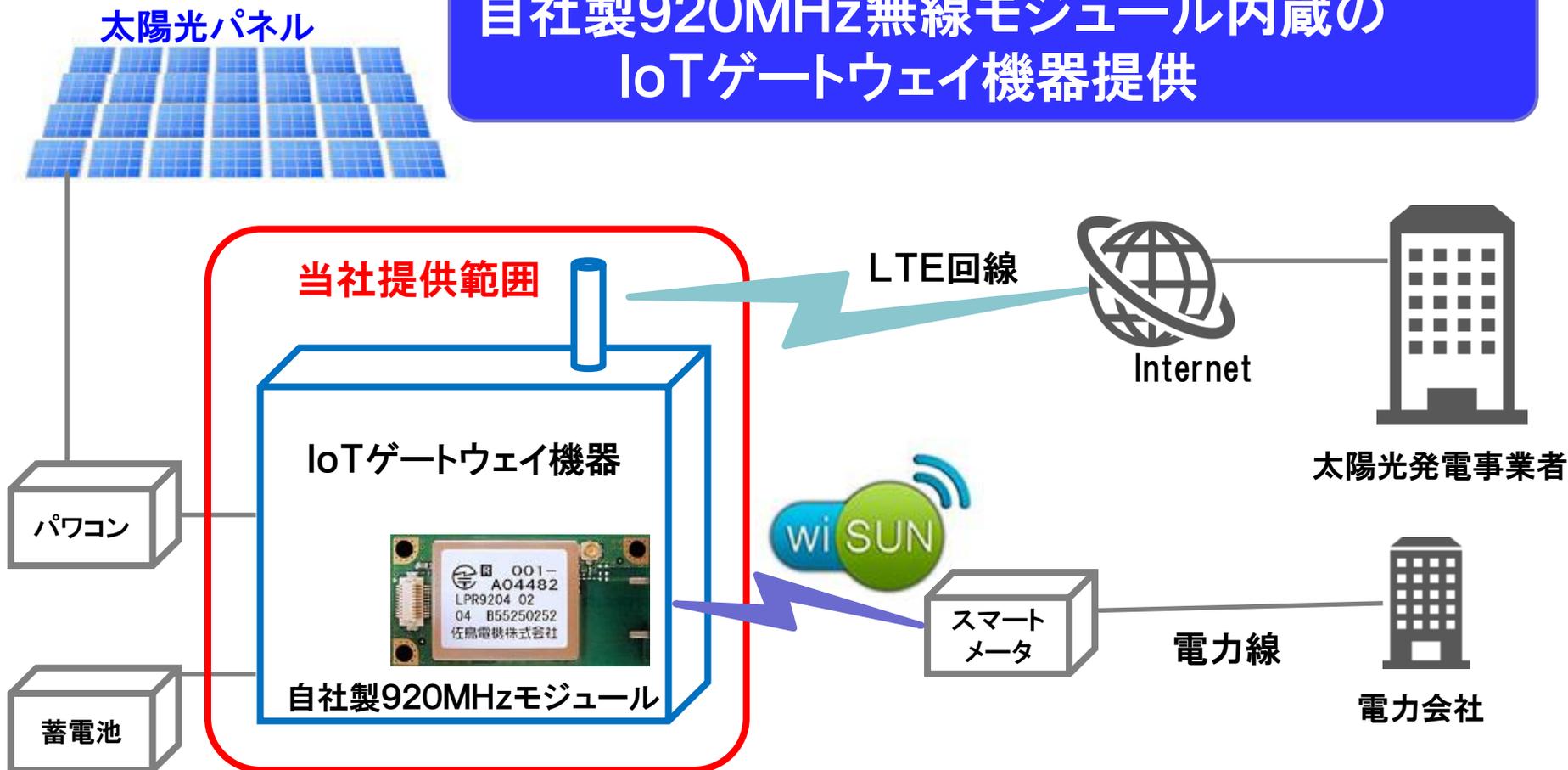
■自社製品(絶縁監視装置)

全国の電気保安協会 導入評価開始



【Leakele DH】

自社製920MHz無線モジュール内蔵のIoTゲートウェイ機器提供



商談規模:8億円(2018年~2021年)

100%子会社の佐鳥エス・テック(株)を吸収合併

【合併の目的】

- ・ スイッチ事業経営の強化・拡大
- ・ 佐鳥グループシナジーの発揮
ソフトウェア、ハードウェア設計開発機能を一体化

【合併の日程】

合併期日 2018年6月1日(予定)

【佐鳥エス・テック株式会社 概要】

事業内容: 自社製品(主に電動工具用スイッチ)の
開発・設計・製造・販売

資本金 : 3.5億円

売上高 : 28億円(2016年度)



パートナー

開発力

スイッチ
事業

海外
ネットワーク

ソフトウェア

物流機能強化を目的に2018年1月に開設

サービス向上／スピードUP

- スマート化
- 省電力化
- 物流効率UP
- アクセス向上

→中央自動車道「八王子IC」約 3.5km

BCP対策強化

- 免震構造
- 非常用発電(48時間使用可能)
- 防災センター(24時間有人管理)
- CASBEE/Aランク以上の認証取得

※CASBEE:建築環境総合性能評価システム



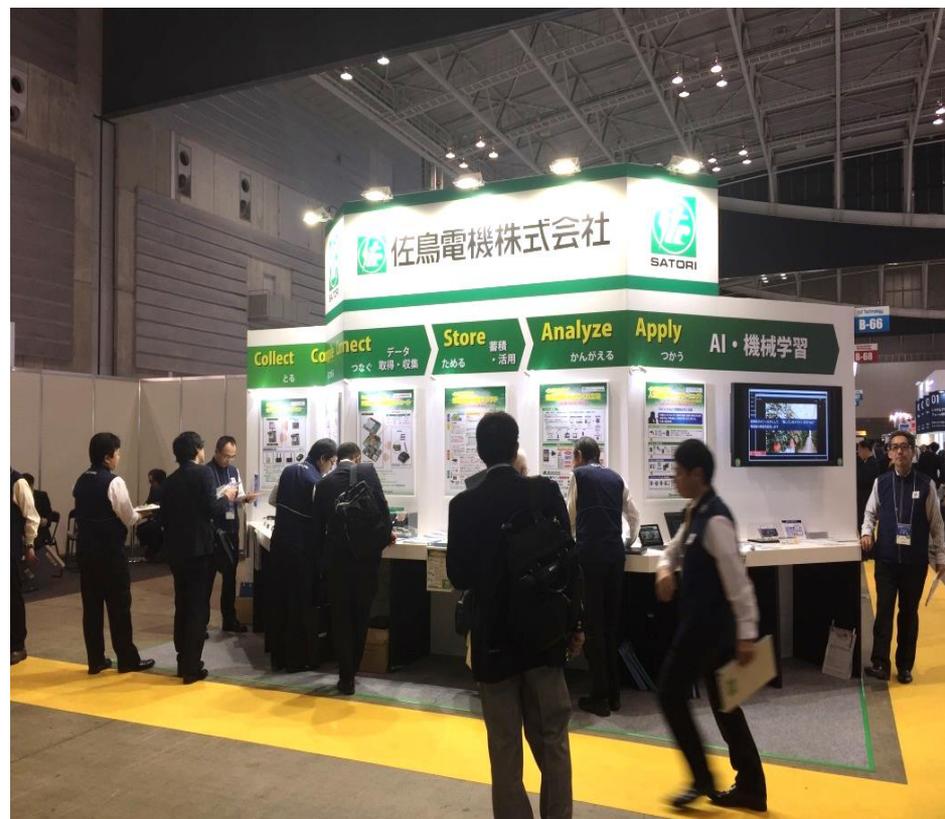
三井不動産ロジスティクスパーク 日野

テーマ:「インダストリアルIoT」
～「あつめる」「つなぐ」「ためる」「かんがえる」「つかう」～

出展商品

- Raspberry Pi用920MHz無線アドオンモジュール
- 920MHz無線モジュールソリューション
(RS-485無線通信ユニット)
- LoRaモジュールソリューション(PLNetworks社)
- 稼働監視(NECプラットフォームズ)/
佐鳥クラウド・遠隔監視
- AI・RAPID機械学習/FPGAアクセラレーション
(NEC)

開催期間 : 2017年11月15日(水)～17日(金)
開催場所 : パシフィコ横浜



ご清聴ありがとうございました

 **佐鳥電機株式会社**

資料取扱い上のご注意

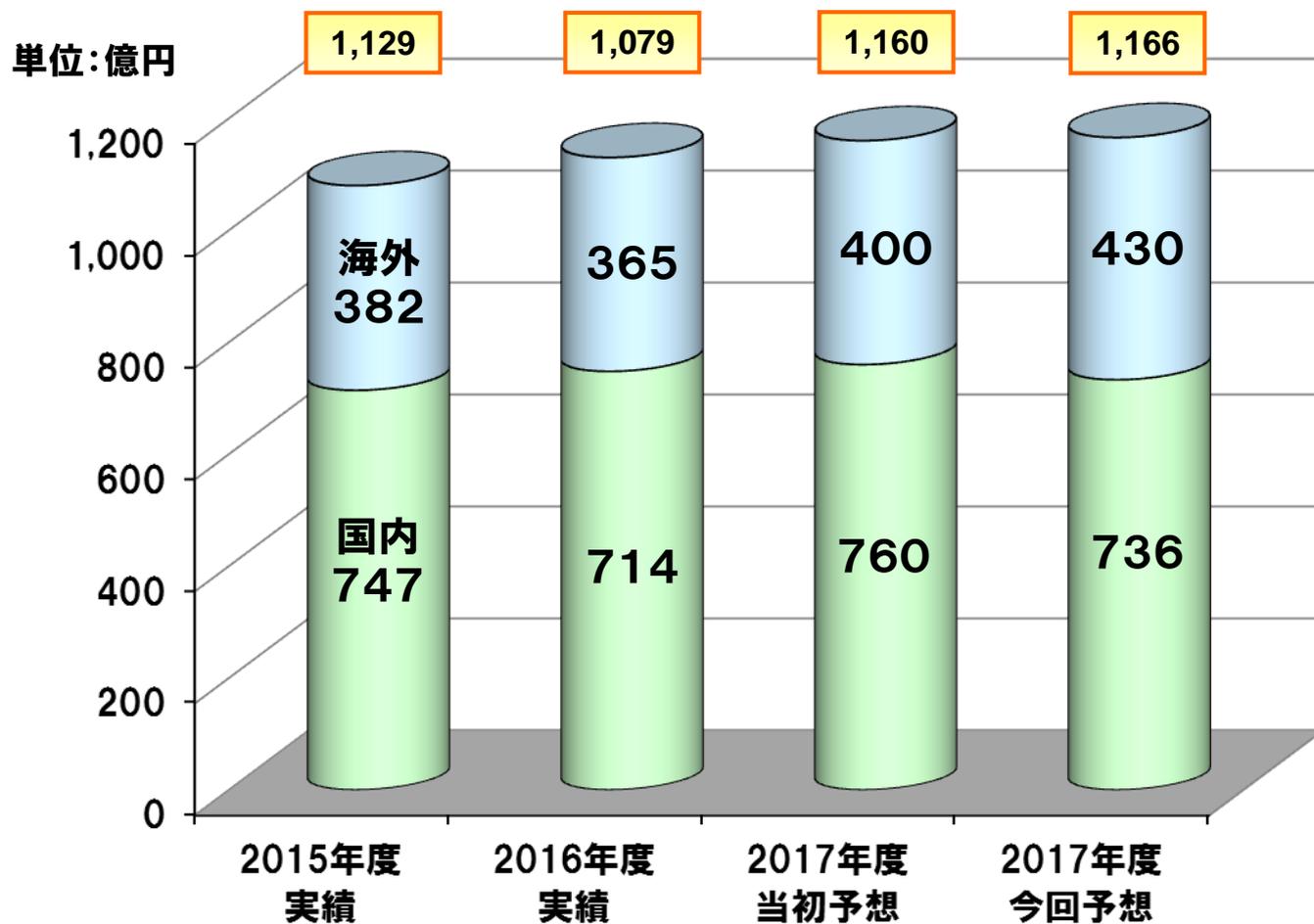
このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定な要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素には以下のようなものがあります。

- ・主要市場の経済情勢や消費動向
- ・為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動
- ・主要製品市場における需給関係の急激な変動
- ・技術革新、顧客ニーズの変化 等

【参考資料①】

所在地別売上構成率推移



【参考資料②】

主要得意先 売上高 上位20社

2016年度通期

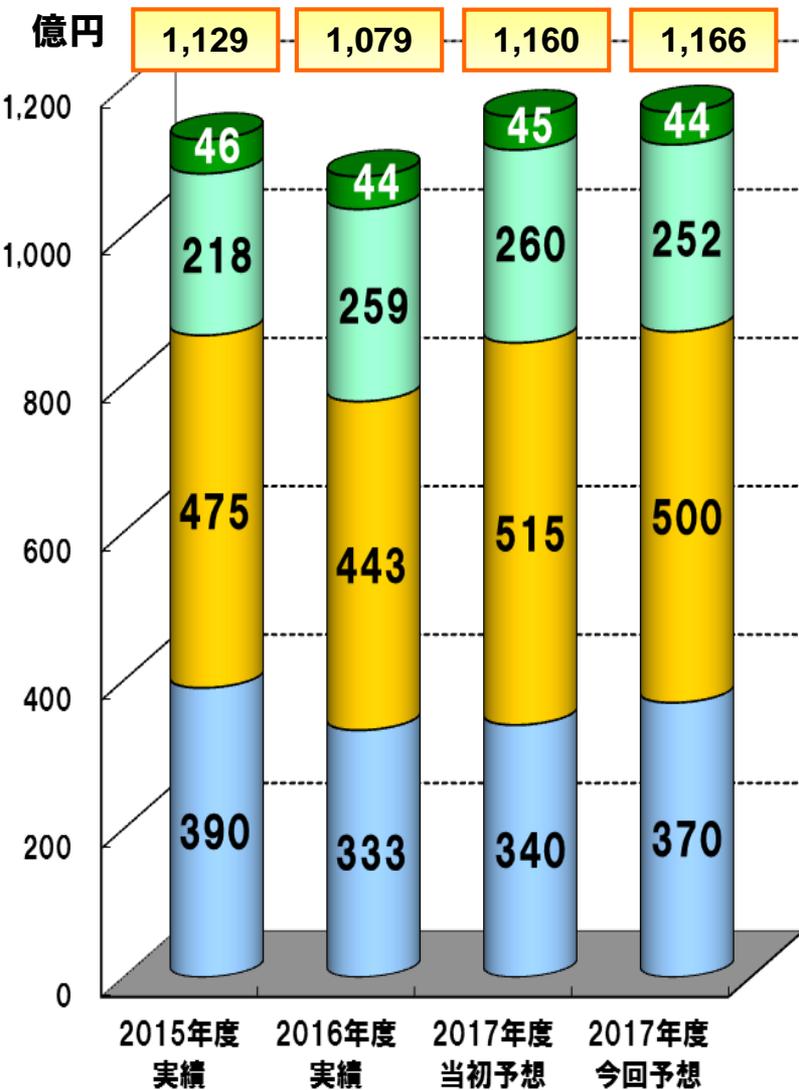
	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	ミネベアミツミグループ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	沖電気グループ	日立グループ
	マキタ	アオイ電子
	荏原製作所	オリンパス
	デンソー	安川情報システム
	HON HAI (台湾)	シマノ
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 55%	上位20社累計 63%

2017年度 第2四半期

	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	ミネベアミツミグループ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	沖電気グループ	日立グループ
	マキタ	アオイ電子
	オリンパス	デンソー
	シマノ	荏原製作所
	HON HAI (台湾)	朝日新聞社
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 56%	上位20社累計 64%

※ 顧客名の 青文字 は海外企業

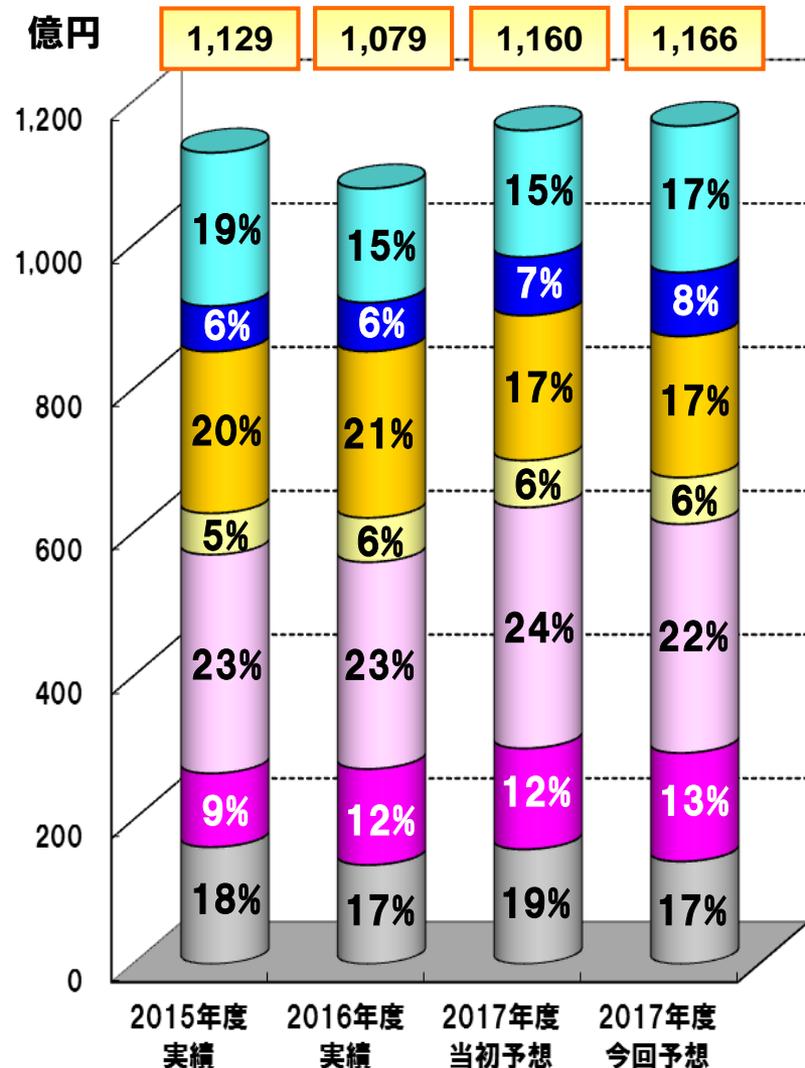
【参考資料③】 品目別売上推移



品目	前年度 v s 今回予想	前年比
製品	電動工具用スイッチ増	100%
電子機器	複写機用HDD増 PC用SSD増 新聞印刷機器用電子機器増 複写機用操作部ユニット減	97%
電子部品	ノートPC用キャパシタ増 携帯基地局用光ケーブル増 ノートPC用バッテリー増	113%
半導体	DSC用SoC増 DSC、プリンタ・複写機用メモリ増 プリンタ用ロジックIC増 車載用センサIC増	111%

【参考資料④】

市場分野別売上構成率推移

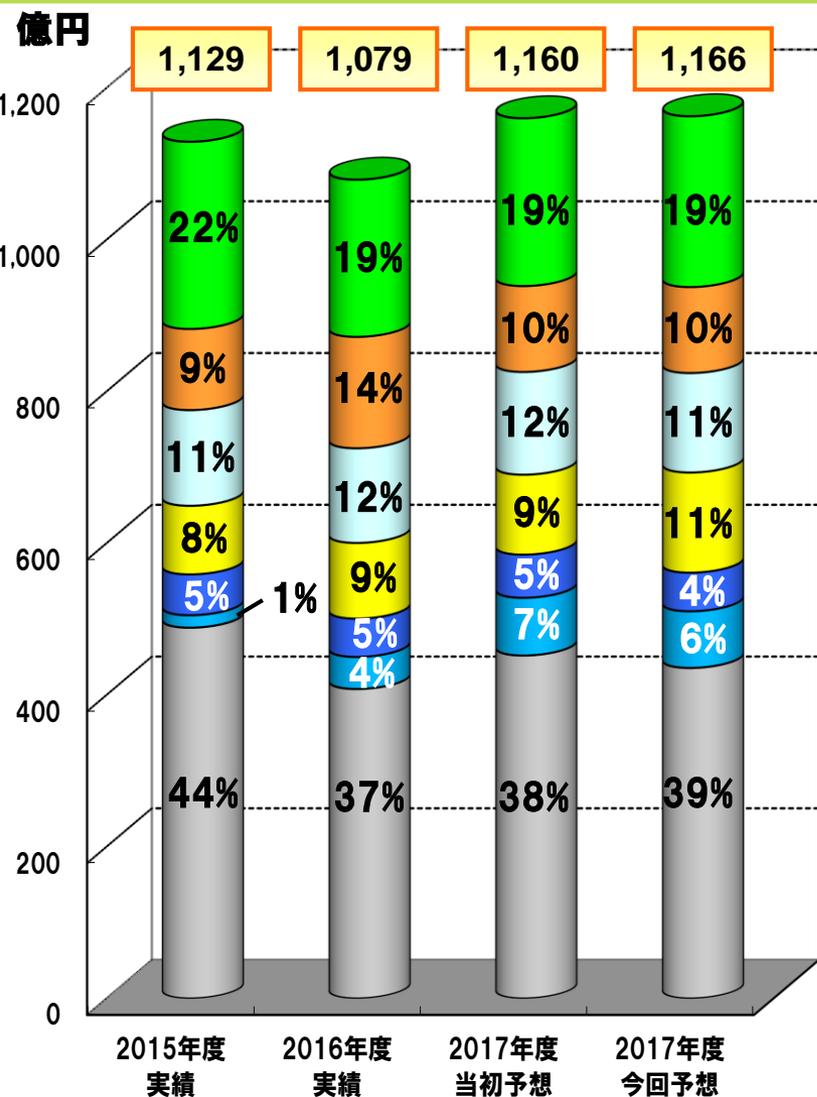


市場分野	前年度 v s 今回予想	前年比
PC・周辺機器 モバイル端末	ノートPC用キャパシタ増 PC用SSD増	128%
DSC	DSC用SoC増	131%
事務機器	複写機用HDD増 複写機用操作部ユニット減	85%
セキュリティ & ライフ	セキュリティ機器用レンズユニット増	105%
産業・社会 インフラ	携帯基地局用光ケーブル増 半導体製造装置用制御機器増 新聞印刷機器用電子機器増 金融機関向け電子機器増	111%
車載	車載情報端末用メモリ増	113%
その他	医療機器用バッテリー増	104%

※『産業インフラ』、『その他』の区分を変更致しました

【参考資料⑤】

仕入先別売上構成率推移



	仕入先	前年度 v s 今回予想	前年比
	ルネサス エレクトロニクス	プリンタ・複写機用SoC減 DSC用SoC増	109%
	NECグループ	店舗システム用サーバ増 複写機用操作部ユニット減	78%
	パナソニック グループ	セキュリティ機器用レンズユニット増 ノートPC用バッテリー増	106%
	トーキン	ノートPC用キャパシタ増	133%
	住友電工 グループ	携帯基地局用光ケーブル増	101%
	ウェスタンデジタル グループ	PC用SSD増 複写機用HDD増	177%
	その他	DSC、プリンタ・複写機用メモリ増 車載用センサIC増	107%